



令和5年度

第12回 吹田市地域公共交通会議

本格運行移行への判断基準(案)と本格運行移行について

吹田市

1. 試験運行について



●導入の背景・目的

- ・吹田市全体でみると交通機関に恵まれた状況である一方、公共交通網のない地域では鉄道駅からの高低差が大きく、高齢の方や移動に制約のある方等にとっては生活しづらい環境

買い物・通院等の生活に必要な各種施設が利用できる「生活の足」を確保することで、「便利で安全な暮らし」の提供をめざす

試験運行 の内容

運行時間: 8時台～18時台

(阪急千里山駅を起点に所要時間1週60分程度で運行)

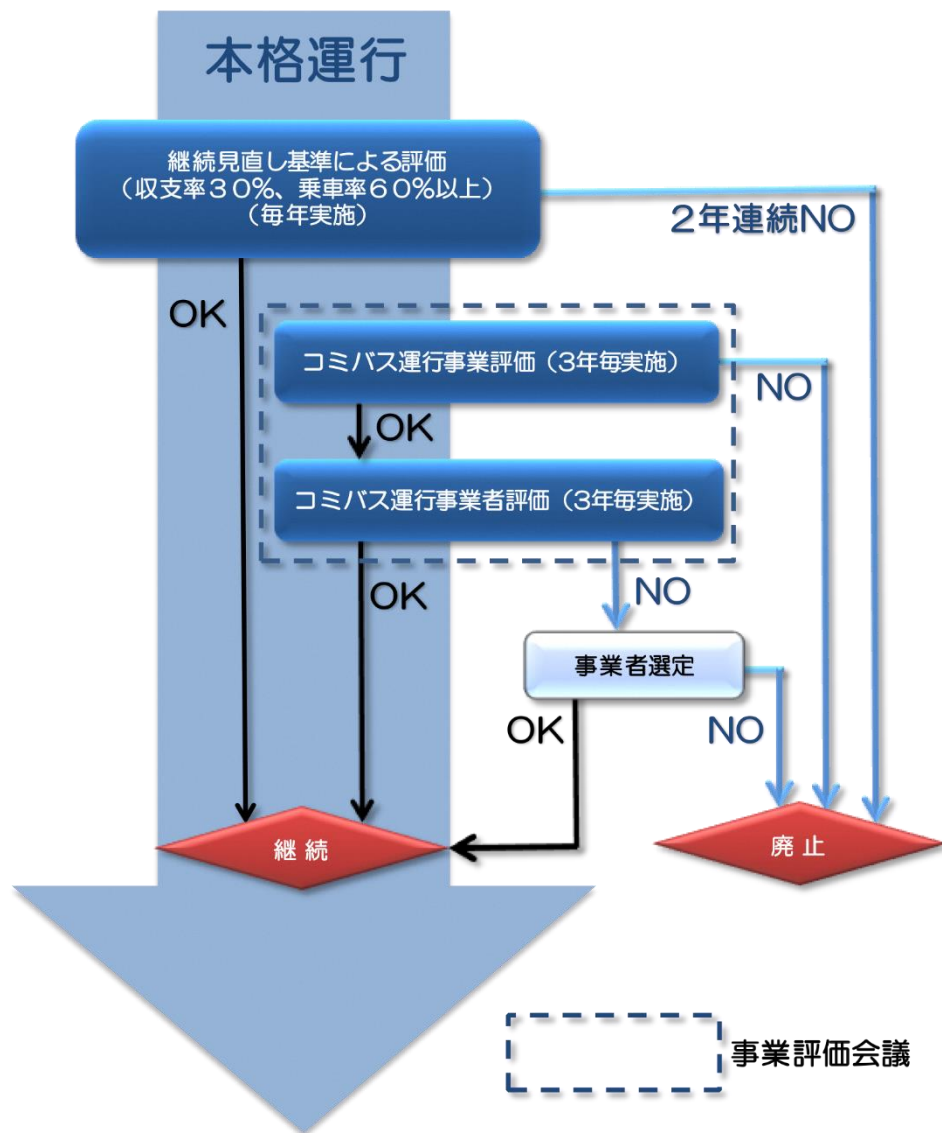
運賃: 全区間(1乗車1回) おとな 200円、こども 100円

- ・「PiTaPa(ピタパ)」「ICOCA(イコカ)」「hanica(ハニカ)」等のICカードが利用可能
- ・阪急バスの高齢者向け(65歳以上)全線フリー定期券「グランドパス65」は利用可能
- ・小学校入学前のお子様は、小学生以上の同伴者1人につき2人まで無料(0歳のお子様は無料)
- ・身体障がい者手帳、療育手帳、精神障害保健福祉手帳の交付を受けている方(障害者手帳アプリ:ミライロIDを含む)は半額(介護者1人も半額)
- ・回数券12枚つづり(おとな:2000円、こども:1000円)あり

2. 試験運行の事業評価と本格運行への移行



試験運行の事業評価と本格運行への移行



○試験運行の際には、本格運行に入るための基準

- 2年間の試験運行の後、本格運行への移行の有無を市内部で判断することになるが、下記指標は、市内部で総合的に判断する際の一つの基準となっている

吹田市のコミュニティバス（すいすいバス） 運行継続基準

●収支率：30%

$$\frac{\text{運行収入（運賃、車外広告料）}}{\text{運行経費等（人件費、燃料費、事務費）}}$$

●乗車率：60%

$$\frac{\text{1便あたりの利用者数}}{\text{バスの座席数}}$$

事業の評価について



●すいすいバス（たけのこルート）の収支状況

年度	運行収入 (円)	運行経費等 (円)	収支差 (円)	収支率 (%)	備考
令和3年度 2022年2月～3月	1,064,651	3,274,475	-2,209,824	32.5	試験運行2/17開始のため実質43日
令和4年度 2022年4月～2023年3月	13,062,723	26,609,380	-13,062,723	49.1	

●今後の経費高騰・割引利用等増加による収入減少を考慮した収支予測

運行収入(※1) (円)	運行経費等(※2) (円)	収支差 (円)	収支率 (%)
11,903,043	29,270,318	-17,367,275	40.7

※1 運行収入:割引利用が浸透した場合を考慮して、R4年度千里丘地区の1人当たりの運行収入153.8円を適用した金額

※2 運行経費:燃料費・人件費高騰を考慮してR4年度の運行経費実績より10%増した金額

※参考：千里丘地区

年度	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	推移 (令和3年と平成30年の差)
収支率	52.1%	51.4%	37.7%	43.6%	52.7%	-8.5%

事業の評価について



●すいすいバス（たけのこルート）の乗車状況

千里山地区（たけのこルート）の車両タイプ

- ・日野ポンチョ（ショートタイプ）：正座席10、立席18、乗務員1（乗車定員は29名）

年度	乗車人数 (人)	運行日数 (日)	1便あたり平均乗車人員(人/便)	乗車率 (%)	備考
令和3年度 2022年2月～3月	5,813	43	12.2	122 (43.6)	試験運行2/17開始
令和4年度 2022年4月～2023年3月	77,393	362	19.4	194 (69.3)	
令和5年度 2023年4月～	32,318	122	24.0	241 (85.7)	7月時点で算出

※乗車率の（ ）内は参考として、1便あたり平均乗車人員 ÷ 乗車定員（乗務員除く）で算出したもの

※参考：千里丘地区：日野ポンチョ（ロング1ドア）正座席17、立席14、乗務員1（乗車定員は32名）

年度	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	推移 (令和3年と平成30年の差)
乗車率	111.8%	112.4%	93.5%	104.8%	125.3%	-7.1%



●継続の判断基準

- 運行経費が増加した場合も目安を下回る可能性は少ないと考えられる。
- 千里丘地域で運行継続としている「収支率30%・乗車率60%」を千里山地域においても適応させ、吹田市コミュニティバスの運行継続基準とする。

年度	収支率(%)	乗車率(%)	備考
令和3年度(2022年2月～3月)	32.5	122	試験運行2/17開始
令和4年度(2022年4月～2023年3月)	49.1	194	
経費高騰等を考慮した予測値	40.7		収支率は令和4年度をもとに算出
吹田市のコミュニティバス運行継続基準	30.0	60	

※本格運行後も収支率・乗車率の評価を判断し、基準に達しなかった場合は、協議会で検討を行い、運行改善等を行う。

○試験運行終了後、本格運行開始への準備を進めていきます。